



ahead 1 TO ADVENTURE

#5 ■再生

文・竹内俊介 写真・増井貴光

「俺のランポ」は、かなり痛んできた。あの美しいボディは変形し、ノーズがだらしなく垂れ下がっている。アルミ製のメインシャシーも同様に変形し、定規をあてると隙間ができる程だ。当然、サスペンションにもダメージを受けたようで、特にフロント左側のアームの動きが渋い。ホイールアライメントも狂っている。四つのタイヤがバラバラな方向を向いているのが肉眼でも分かる。実車であれば、まともにも走れるクルマではないことは一目瞭然。そこで岩崎さんの指導のもと、オーバーホールをすることにした。

今回、オーバーホールと同時に、岩崎さんの薦めで一部に強化パーツとセッティング幅を広げるためのパーツを投入することにした。それとマフラーをスポーツタイプにした。実車も含めてチューニングの基本はマフラーだ。それも光物に限る。これだけは譲れないポイントだ。

さて、いよいよ作業開始。まずはエンジンを外す。続いて問題のフロントユニットを解体。サスペンションをばらすと、ボールジョイントが変形していることを発見。

そこで強化品に交換する。岩崎さんによると、より本格的なラジコンカーである1/8レーシングの純正品で、強度もあり精度も高いとのこと。指先でなぞってみると確かにボール形状の精度の高さを体感できる。全てのボールジョイントを強化品に交換することにした。続いてロアアームのシャフトを外すと、見事に変形している。これではスムーズにサスペンションが動くわけがない。ここはアームとセットで純正の新品に交換。さらにドライブシャフトも歪んでいたので新品に交換した。そしてフロントデフの支持ベアリングを洗浄してグリスアップ。

次に、リアユニットだ。こちらも、サスペンションアームとシャフト、ボールジョイントを交換。念のため、ドライブシャフトも新品にした。そしてリアデフを洗浄し、耐久性アップのために4ピオンギア化したファーマルは2ピオン。ラジコンの場合、実車と違ってLSD（リミテッドスリップデフ）なるものが存在しない。その代わり、充填するオイルの粘度でLSD効果を発生させるのだ。通常は粘度が三〇〇〇番〜五〇〇〇

○番の間にするそうだが、今回は一番柔らかい三〇〇〇番のシリコンオイルにした。初心者には、その方が扱いやすいらしい。ダンパーもオイルを変更した。こちらは三〇〇番〜五〇〇番の間でセッティングする。やはり柔らかい四〇〇〇番を選んだ。理由は、同じく扱いやすさのためだ。そしてエンジンも分解して各部をチェック。特に問題はないので、クラッチを強化品にして再び組み上げた。ただし、プラグとエアリーナーは新品に交換。できあがった各ユニットを、新品のシャシーに組み付け、スポーツマフラーを取り付ける。アライメントをとった後、各部のガタを調整して終了（このガタの調整が意外と難しい。閉め過ぎると動きが悪くなるので注意！）。

さて、完成したマシンを手に取り、サスを動かすと実に滑らか。思わず顔がほころぶ。メカっぽさが嬉しい。さらに光り輝くマフラーを眺めてニヤける。実に美しい。以上、本日の出費、三三、九五〇円。早く走らせてみたい。本番のレースまでは、約一ヶ月。「俺のランポ」は復活した。



痛みきったシャシーを解体したところ。ブルーの板がアルミ製のメインシャシー。これが歪んでいた。



エンジンも分解した。なんとも可愛いピストンとシリンダー。やはりエンジンのメカニカル感がいい。



今回、交換する純正の新品部品。手前の黒いパーツが、アームセット。プラモデルのような状態だ。



こちらは、新たに投入する強化パーツ類。そして、光り物のマフラーと抜けの良さそうなマニホールド。



まさに、新品のような状態に復活した「俺のランポ」。そして光り輝くスポーツマフラー。ボディも新品にした。